

# たかつき エコフェスタ

1月27・28日

1月27日～28日に生涯学習センターで開催された「たかつきエコフェスタ」に参加しました。今回のエコフェスタでは、中央に大きく工作コーナーを設定した関係からか、例年に比べ子どもの数が多く、子どもたちはしゃべ声でぎわいました。



芥川俱楽部、たかつき環境市民会議水グループのブースでは、パネルにて芥川俱楽部の活動を紹介しました。ミズヒマワリ駆除やアユの遡上調査など、これまでに行った活動内容を展示し、説明を行いました。今年度のアユの遡上数が増えたことや、上流域のミズヒマワリがほぼ根絶していることなどに关心が集まっていました。加えて、オオバナミズキンバイの駆除の状況もパネルで紹介し、特定外来生物の駆除の必要性や困難さの説明も行いました。パネルの隣には水槽も設置。実際に芥川にいる魚たちを目にしてもらうことで、芥川の魅力をPRしました。今年は各イベントで大人気の「魚釣りゲーム」も登場。会場の入口にビニールシートを設置し、その中に魚を並べて釣りを楽しんでもらいました。こちらのゲーム



には会場の子どもたちに多数参加してもらい、竹の竿を手にとても楽しそうでした。こうしたゲームを通じ、将来の「川ガキ」を育てていきたいと思います。

## ～芥川でアユを見つけよう！ボランティア大募集！！～

芥川にアユが棲んでいることを皆さん知っていますか？芥川大橋上流の堰に魚みちがあって、淀川から芥川の上流に向かって体長5cmくらいのかわいいアユが元気に上っています。昨年はなんと約17,000尾ものアユが芥川を上っているんですよ。今年もどれだけのアユが上るのか、アユを数える調査に参加しませんか？



調査期間：5月15日～7月15日  
9:00～15:00  
調査場所：芥川大橋上流の堰の魚みち（高槻市芝生町2丁目地先）  
調査方法：ボランティア調査員2名で魚みちを通過する魚を目視でカウント  
応募条件：ボランティア保険に加入（費用：主催者負担）  
問合せ：茨木土木事務所 地域支援・企画課（TEL:072-627-1121）

芥川俱楽部では、川づくりや各種イベントと一緒に参加してくれる方を募集しています。イベント等の情報は下記の芥川俱楽部ブログにて、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。  
ブログ：<http://akutariv.blog85.fc2.com/> HP：<http://akutagawaclub.web.fc2.com/>  
e-mail：[akutagawa0726@yahoo.co.jp](mailto:akutagawa0726@yahoo.co.jp)

～～～「芥川」はみんなの川です「芥川」をきれいにしましょう ゴミを捨てないようにしましょう ～～～

## ～第12回淀川・芥川クリップ大作戦～

天然のアユが遡上する前に“大掃除”を実施します！清掃活動後は、おいしいまかないつき！みなさんの参加をお待ちしています。

平成29年3月18日(土) 10時～(小雨決行)

### 集合場所

下の地図の①～⑥の各地点

- 6箇所のうちご都合のいい所へお越し下さい
- ④の解散場所は津之江公園になります



※雨天中止の判断は、当日、午前7時に行います。

情報は「芥川俱楽部ブログ」  
<http://akutariv.blog85.fc2.com/>に掲載します

## ～平成29年度 事業のお知らせ～

今年度も芥川を中心とした様々な活動を行っていきます。活動にぜひご参加ください。

- 4月22日 わんど観察会
- 4月29日 こいのぼりフェスタ
- 5月～ アユの遡上調査
- 6月 3日 あくあびあふれあいフェスタ 2017
- 7月 8日 ネットワーク総会
- 7月29日 お父さんのための魚とり講座
- 10月21日 遊歩道イベント

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

# 芥川ゆめむら



Vol.27  
2017年  
春号



1月15日 正恩寺橋より上流側を撮影

## 芥川・アユの育つ川づくり講座を開催！ ～芥川のむかし・いま・これから～

2月25日

昨年17,000尾の天然アユが遡上した芥川。歴史を紐解きながらこれからの芥川について考える講座を開催し、58名の方が参加されました。

高槻市立今城塚古代歴史館特別館長の森田克行さんは「考古資料から見る芥川」と題した講演。弥生時代の安満遺跡を代表とする檜尾川中心の水田農耕の生活圏が、古墳時代になり芥川から水を引き米づくりを行う術と淀川から芥川への水運を手にしたこと、津之江が南東端となる富田台地中心の芥川の恵みを得る生活圏に移ったこと、それはヤマトに移る前の繼体大王がヤマト王権から請われ淀川の水運として筑紫津（鶴殿～三島江の港）を整備したことなど、とても興味深いお話を聞くことができました。

淀川管内河川レンジャー運営会議委員の北田莊平さんは自らの体験談を交えての講演。芥川の大洪水で破堤し水没した村、堤防強化工事で活躍した土汽車のレールや鉄橋、堤防を餌場とし雑草刈りにも貢献していた黒毛和牛などの写真を用いて芥川の昔の

様子をリアルに聞かせて頂きました。芥川俱楽部副代表（兼高槻市立自然博物館館長）の山本忠雄さんの「芥川のこれから」と題した講演では、桜堤公園～塚脇橋の魚みちを整備できれば、「あくあびあ川」のそばまで多くの天然アユが遡上し近い将来、釣ったアユを食べることも夢ではない感じることができました。



編集・構成 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川俱楽部～  
事務局：NPO法人芥川俱楽部 ホームページ <http://akutagawaclub.web.fc2.com/> ブログ<http://akutariv.blog85.fc2.com/>  
平成29年(2017年)3月 発行：高槻市 都市創造部 下水河川企画課 TEL 072(674)7432

●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川協力団体（国（近畿地方整備局）第2号）に認定されています●

